

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第23週の発生動向

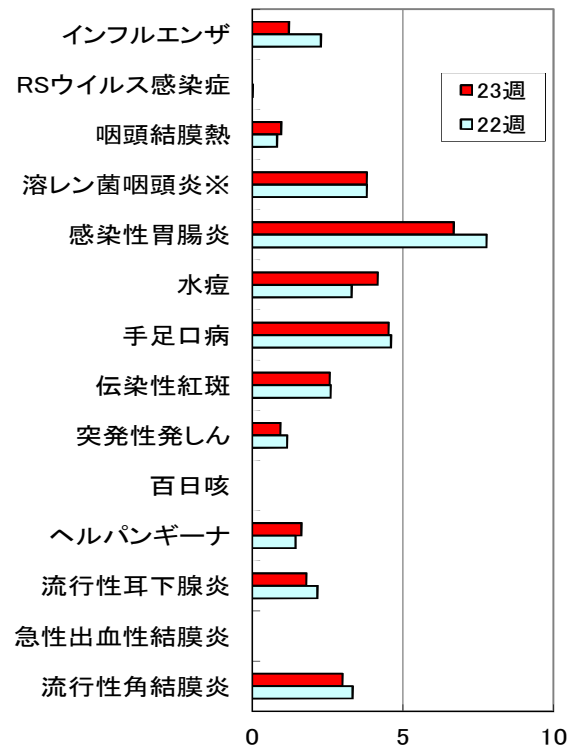
定点医療機関からの報告総数は1,067人(定点あたり31.4)で、前週比94%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎であった。

水痘の報告数は150人(4.2)で前週比126%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(3.2)の約1.3倍である。小林(13.0)、延岡(9.5)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では6ヶ月から3歳で全体の約8割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は35人(0.97)で前週比117%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.78)の約1.2倍である。延岡(2.0)、高鍋(1.8)、都城(1.5)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から4歳で全体の約8割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
水痘	7	4.2	小林(13.0)、延岡(9.5)	6ヶ月～3歳で全体の約8割を占めた。
手足口病	5	4.5	延岡(14.8)、日向(14.5)	1歳～3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.6	延岡(4.8)、宮崎市(3.6)、 日向(3.0)、高鍋(2.8)、 日南(2.3)	3歳～5歳で全体の約4割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 7 例宮崎市 (5 例)、都城 (2 例) 保健所から報告された。  
《宮崎市保健所》・70 歳代の男性で結核性胸膜炎。呼吸困難がみられた。  
・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
・60 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
・60 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
・50 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
《都城保健所》・60 歳代の女性で疑似症患者。咳、痰、発熱がみられた。  
・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。20 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は O157 (VT1、VT2 産生)。
- 4 類感染症 : チクングニア熱 1 例が宮崎市保健所から報告された。20 歳代の女性で発熱、関節痛、発疹、全身倦怠感、頭痛がみられた。海外での感染であった。
- 5 類感染症 : ○ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の女性でショック、急性呼吸窮迫症候群、DIC、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状がみられた。  
○ 梅毒 1 例が都城保健所から報告された。30 歳代の女性で無症状病原体保有者。

## ■ 全国第 22 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 16.9 で、前週比 102% とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

手足口病の報告数は 3,435 人 (1.1) で、前週比 167% と増加した。福岡県 (5.1)、香川県 (5.0)、岡山県・佐賀県 (各 4.8) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,121 人 (0.36) で、前週比 164% と増加した。鹿児島県 (2.9)、香川県 (2.2)、鳥取県 (1.6) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

### □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 379 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 38 例、腸チフス 2 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 2 例、A 型肝炎 1 例、チクングニア熱 1 例、つつが虫病 12 例、デング熱 1 例、日本紅斑熱 3 例、レジオネラ症 14 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 9 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 2 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、後天性免疫不全症候群 19 例、ジアルジア症 1 例、先天性風疹症候群 1 例、梅毒 12 例、風疹 10 例、麻しん 13 例

## ■月報告対象疾患の発生動向 <5月>

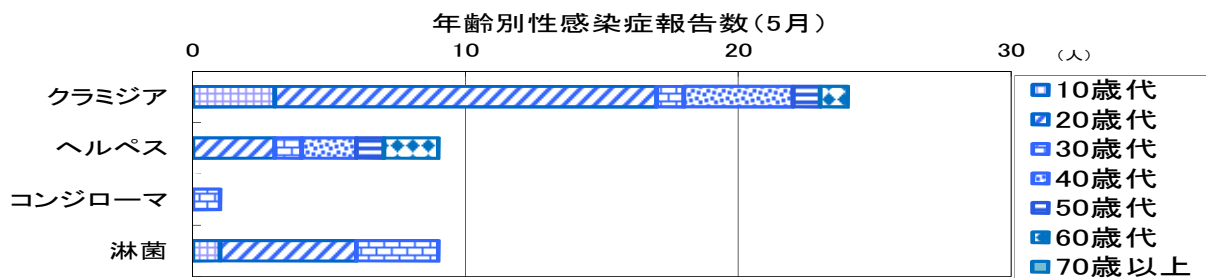
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は43人（3.3）で、前月比98%とほぼ横ばいであった。また、昨年5月（4.1）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人（1.9）で、前月の約9割、前年とほぼ同数であった。延岡・日向（各4.0）、都城（3.0）保健所からの報告が多く、男性15人・女性9人で、20歳代が全体の約6割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約1.1倍、前年の約6割であった。男性1人・女性8人で、20歳代が全体の約3割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約3割、前年の約2割であった。30歳代の女性であった。
- 淋菌感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約1.5倍、前年の約8割であった。全て男性で、20歳代が全体の約6割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：963

定点医療機関からの報告総数は3,950人（4.1）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,029人（2.1）で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症690人（0.72）で前月比109%、尖圭コンジローマ433人（0.45）で前月比96%、淋菌感染症798人（0.83）で前月比104%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は38人（5.4）で前月比72%と減少した。また昨年5月（5.9）の93%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数29人（4.1）で、前月の約8割、前年の約1.2倍であった。延岡（11.0）、宮崎市・都城・高鍋（各5.0）、保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数9人（1.3）で、前月・前年の約6割であった。宮崎市（4.0）、高鍋（3.0）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約8割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：468

定点医療機関からの報告総数は2,505人（5.4）で、前月比110%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,977人（4.2）で前月比107%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症491人（1.1）で前月比119%、薬剤耐性緑膿菌感染症36人（0.08）で前月比133%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人（0.0）であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第23週(06月06日～06月12日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	135	72	8	55	2	1	3		1	1	1
	定点あたり	2.29	1.22	0.50	5.50	0.29	0.20	0.60	0.00	0.50	0.17	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	30	35		9	8	3	3	7		5	
	定点あたり	0.83	0.97	0.00	1.50	2.00	1.00	1.00	1.75	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	137	137	27	16	30	23	2	17	6	13	3
	定点あたり	3.81	3.81	2.70	2.67	7.50	7.67	0.67	4.25	6.00	3.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	280	241	43	42	15	20	49	30	8	26	8
	定点あたり	7.78	6.69	4.30	7.00	3.75	6.67	16.33	7.50	8.00	6.50	8.00
水痘	報告数	119	150	34	15	38	3	39	4	2	15	
	定点あたり	3.31	4.17	3.40	2.50	9.50	1.00	13.00	1.00	2.00	3.75	0.00
手足口病	報告数	166	163	26	11	59	2		7		58	
	定点あたり	4.61	4.53	2.60	1.83	14.75	0.67	0.00	1.75	0.00	14.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	94	93	36	7	19	7	1	11		12	
	定点あたり	2.61	2.58	3.60	1.17	4.75	2.33	0.33	2.75	0.00	3.00	0.00
突発性発しん	報告数	42	34	6	7	7	2	3	3		5	1
	定点あたり	1.17	0.94	0.60	1.17	1.75	0.67	1.00	0.75	0.00	1.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	52	59	9	8	10	5	1	10		16	
	定点あたり	1.44	1.64	0.90	1.33	2.50	1.67	0.33	2.50	0.00	4.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	78	65	42	4	2	9	1	3	2	2	
	定点あたり	2.17	1.81	4.20	0.67	0.50	3.00	0.33	0.75	2.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	18	15	2	1						
	定点あたり	3.33	3.00	5.00	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～23週)

2類感染症	結核	127例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例(1)	つつが虫病	2例
	日本紅斑熱	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	6例
	梅毒	5例(1)	破傷風	5例	風しん	1例
	麻しん	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～23週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲